

平成30年度 第1回燕警察署協議会議事概要

開催日時	平成30年6月25日（月）午後3時00分から午後4時30分まで				
開催場所	燕警察署講堂				
出席者	委員 (定数7人)	池田副会長 服部委員	信田委員 堀委員	高野委員 山田委員 (副会長以下50音順)	計6人
	警察	澁谷署長 渡邊留置管理課長 五十嵐生活安全課長 加藤刑事課長 警備課長	坪谷副署長	警務課長 小口会計課長 木村地域課長 金子交通課長	計10人

管内の治安情勢

署長から、平成30年5月末現在の管内の治安情勢について、資料に基づき説明があった。

前回の答申事項に対する業務推進状況

前回答申した重点推進項目の取組状況について交通課長、生活安全課長がそれぞれ説明した。

1 各種交通事故抑止対策の推進

(1) 春の全国交通安全運動の実施

4月6日、春の全国交通安全運動の出発式を燕市分水公民館前において、燕市長をはじめ燕市交通安全協会会員等約30人が参加して出発式を行った。出発式にあたり、吉田北地区のご当地ヒーロー「方言戦隊メテオレンジャー」を一日交通課長に任命し、国道116号熊森待避所に街頭指導所を開設してドライバーに安全運転を呼び掛けた。

また、この運動期間中に広報を実施した主なものは

- ・ 4月9日、燕労災病院内のロビーにおいて訪れた高齢者を対象にチラシ、夜光反射材等の配布活動
- ・ 4月19日、分水地内の高齢者宅100世帯に対して夜光反射材の貼付活動である。

(2) 各種交通事故抑止広報の実施

ア 4月17日から6月13日までの間、燕市・燕市交通安全協会と協働で自転車教

室を開催して管内の小学校、中学校の合計22校延べ3319人に対し、交通ルールの周知徹底を図った。

イ 6月2日、吉田産業会館において高齢者交通安全フェアを開催し、訪れた高齢者に対して、

- ・ 飲酒運転の模擬体験
- ・ 歩行環境シュミレーターの体験

等を行い、体験型の広報啓発活動を実施した。

2 特殊詐欺被害防止対策を重点とした犯罪抑止対策の推進

(1) 特殊詐欺被害防止広報の実施

ア 4月7日、交通公園子供の森で開催された「さくらまつりフェスタ」に参加し、高齢者を対象に特殊詐欺被害防止グッズ等の配布活動を実施した。

イ 4月17日、市内自治会の定期総会において特殊詐欺被害防止広報を含めた防犯講話を実施した。

諮問

署長から、当面の重点推進事項について次のとおり諮問があった。

1 特殊詐欺被害防止対策の強化

特殊詐欺被害防止活動の強化を図るため、各種会合を利用して特殊詐欺の現状とDVD等を活用した特殊詐欺の手口を紹介し、前兆事案を含めた予防、警察への通報を継続的に指導する。

2 交通事故抑止・犯罪抑止対策の継続

夏の交通事故防止運動と連動しながら、夏祭りの雑踏事故防止活動を含めて街頭赤ランプ広報及び交通指導取締り等の街頭活動を推進し交通事故抑止、犯罪抑止対策を強化する。

答申

燕警察署協議会として協議、検討した結果、諮問のとおり推進するよう答申した。

意見・要望・質疑等（○は署長等の説明）

1 児童虐待や高齢者虐待の相談を受理した場合はどのような対応を取るのか。

○ 相談内容によって対応は異なりますが事件化できるものは捜査します。また口頭注意で済む程度については、関係機関と連携し情報共有しながら今後のことを含めた対応策を取っています。

2 新潟市女兒殺人事件では、スマートフォンによるラインやSNS利用者間で情報が拡散したと聞いたが、警察はラインやSNSを活用しているのか。

○ 警察では、ひかるくんひかりちゃん安心メールで情報発信をしていますし、新潟県警公式ホームページを閲覧するとツイッターも利用することができます。また当署にはスクールサポーターが配置されているので学校側と情報共有しながら対応策を取っています。

3 高齢者の運転免許証の自主返納者は増えているのか。

- 高齢者ドライバーによる大きな交通事故が報道されると自主返納を希望する高齢者が増える傾向にあります。また高齢者ドライバーの目に余るような交通事故であれば指導し、ご家族の方から自主返納するように働きかけをしています。

速度等取締り指針の策定

交通課長から、交通事故発生実態に合わせた速度等取締りを実施する旨の説明があり、了承された。

その他



【協議会開催状況】